

# 国語のない国

— 紙幣に見る多様性の国

— インドの言語事情 —

## 投稿

信州口腔外科インプラントセンター所長 北村 豊

14億人超えの人口となったインドには、ここ4～5年の間に学术交流(学会参加・講演)で行く機会が増えている。

旅行の楽しみは、何といつても会話を介した人との交流が一番であるが、その国の紙幣やコインのデザインとの出会いも私にとっては楽しみの一つである。

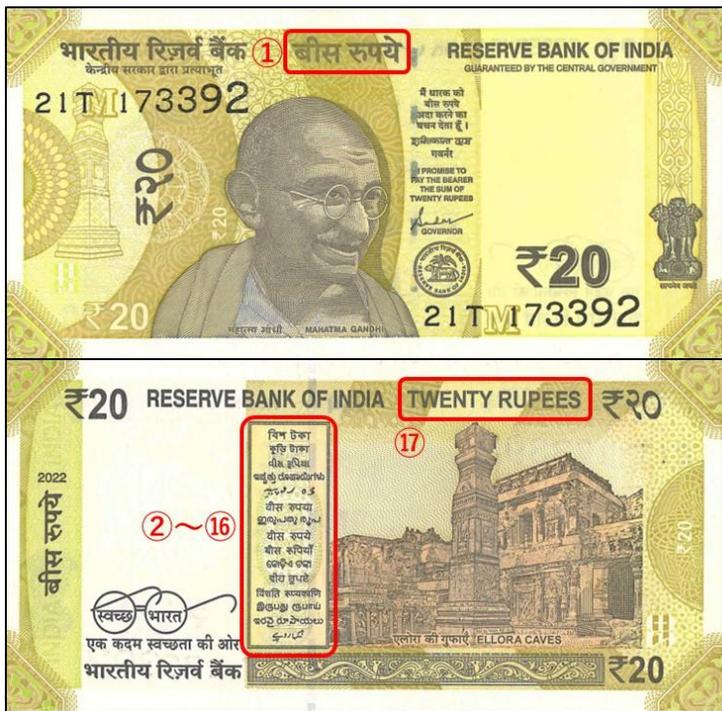
インドでは多数の言語が、今なお存在している。「インドの国語」というものは存在していない。各州によっても公用語が異なっているが、インドの人々は初等教育から日本の高校卒業にあたる12年生まで、3言語を学ぶことが推奨されているそうである。その3言語とはヒンディー語、州の公用語、英語などである。

インドの憲法においては、連邦政府レベルでの唯一の公用語はヒンディー語と決められている。英語は、かつてイギリスの植民地であったインドでは政府行政機構では「準公用語」の地位を保持しているが、国土で広範に使用されている

とは断定しがたい側面ももっているようである。収入の良い仕事につくには、英語を「話せる」ことは必須となつてきているようである。英語を学ぶために語学学校に通学する人も増加していると聞く。一方、日本人について見てみると、いろん

な学会に所属している私の肌感覚でも東南アジアを始めとする日本の周辺諸国では英語を話せる人が一昔前とは大きく異なり、その人口は確実に、しかも急速に増加していることを感じる。グローバルというカタカ

ナ英語だけは一人歩きしてポピュラーな言葉となつている日本だが、英語教育の目的は受験に置かれていることは明白である。時間距離の短くなった今日では、語学が一番重要であるコミュニケーションをはかるためにも英会話能力の向上は必須である。坂道を駆け落ちつつある日本をストップさせるには、文科省も英会話に軸足を移した英語教育に今直ぐにでも移していかなないと手遅れになるであろう。



②	विश टका
③	रुडि टाका
④	वीस रुपिया
⑤	ಇದ್ದತ್ತು ರೂಪಾಯಿಗಳು
⑥	بیس روپے
⑦	वीस रुपया
⑧	ഇരുപതു രൂപ
⑨	वीस रुपये
⑩	बीस रुपियाँ
⑪	ବୀସ ରୁପାଏ
⑫	विंशति रूप्यकाणि
⑬	இருபது ரூபாய்
⑭	ಇರವ್ವ ರೂಪಾಯಲು
⑮	بیس روپے
⑯	英語

### 新ガンジーシリーズの紙幣 20ルピー

17種類の言語で「20ルピー」と記載され、①が公用語であるヒンディー語で表面に、そして準公用語の英語を始め15種類の民族の言語で「20ルピー」と書かれていることから、この国の多様性が見て取れる。